

令和6年飯田市議会第3回定例会一般質問通告表

令和6年9月4日、5日

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	小 平 彰 (新政いいだ) 【 30 分 】	1 休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行について (1) 国が策定したガイドラインでは令和5年度から令和7年度までが改革推進期間だが市のスケジュールは (2) 市の考え方及び進め方について ① 部活動の地域移行の説明を生徒・保護者にどのように行ったか ② 部活動を地域にどのように移行するか ③ 運営団体・指導者をどのように考えるか ④ 活動場所はどのように考えるか ⑤ 地域移行に伴い活動費をどのように考えるか ⑥ 地域との連携をどう考えるか 2 情報のデジタル化について (1) 飯田市公式LINEでの情報について ① 市の情報をどのような基準で発信しているか ② 災害時はどのような情報が発信できるか ③ 市民の利用状況はどうか (2) 情報ツールで双方向の活用はできないか ① 独居高齢者の見守りはできないか ② 災害時の情報連絡や安否確認はできないか
2	筒 井 誠 逸 (新政いいだ) 【 40 分 】	1 市職員の働き方改革について (1) 市立病院における医師・看護師・事務員の勤務の現況は ① 労働基準法第36条の労使協定はどのように締結されているか ア 宿直の勤務時間は、一回何時間か

筒井 誠 逸
(新政いいだ)
【 40 分 】

- イ 宿直の月平均回数は、一番多い産科医師が4.36回となっており、個人の負担が大きいと思うが、問題はないか
- ウ 勤務時間の管理方法として、市立病院独自の就業システムを導入しているが、どのような運用をしているか。また、その結果の管理は誰がしているか
- エ 病院ではさまざまな人が働いていて、人間関係も大変な中で心理的要因で退職した人もいると聞いているが、実態は把握しているか
- オ 働き方改革で現在行っていることと、今後行っていきたいことは

(2) 市職員全般の勤務状況について

① 「人事行政の運営等の状況」から

- ア 人員不足はあるか。あればどの部局か
- イ 1週間を超える療養休暇取得者が延べ97人となっているがどう考えるか。また、改善策をどう考えているか
- ウ 令和4年度、休職者に対する分限処分を29件、減給戒告などの懲戒処分を4件、訓告を9件行っているが、どう捉えているか。また、件数は増加傾向にあるか
- エ 有給休暇は年20日付与されているが、令和4年度の平均取得日数は8.8日と少ない現況をどう見るか

② 「職員の仕事と生活の調和の推進に関する事業主行動計画」から

- ア この計画の「事業主」とは誰を指すか
- イ 育児休暇を取得する女性職員の実績は過去4年間全て100%であるのに対して、男性職員の実績は令和4年度で25.8%、また、配偶者出産休暇取得率は48.4%、出産に伴う養育休暇の取得率に至っては16.1%と年々下がり続けている。原因は何と考えるか。また、対策として何をしているか
- ウ 仕事と生活の調和について満足している職員の割合はアンケート結果で37.4%と低い。数値目標が45%以上となっているが、残りの55%近くの職員は不満があってもよいのか

(3) 若手職員のやる気を高めるためには上司の挑戦が大事だと思うがどうか

① 現状はどうか

	筒井 誠逸 (新政いいだ) 【 40 分 】	ア Z世代・概ね30歳未満の若い職員の仕事への意欲をどう捉えているか。また、特徴についてはどうか イ 若者のモチベーションを高めるには上司として何が必要だと考えるか ウ 市職員の上司として市長はいま挑戦していることは何か。また、今後挑戦したいことは
3	古川 仁 (日本共産党) 【 40 分 】	1 リニア駅周辺整備について (1) JR東海は長野県駅工事中において土曾川橋梁基礎工事の中詰め材として「要対策土」を活用することを表明したが市の対応は ① 「要対策土」を活用することについて市の考えは ② 市として「要対策土」について独自に調査研究する考えは ③ 今後、市内で「要対策土」の仮置き場ができると聞くが市の対応は ④ 市として市民・住民が理解するための周知は ア 組合未加入者へは イ 女性・若者へは ⑤ 市民の命と暮らしを守るための考えは ア 「要対策土」活用についてJR東海と書面等を交わすべきと考えるがどうか イ 「要対策土」の活用中止をJR東海に求めているかどうか
4	福澤 克憲 (会派きぼう) 【 40 分 】	1 災害に備えた防災・減災対策の考え方について (1) 8月8日から15日まで、気象庁から発表された、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)について ① 市としての対応状況は ② 市民の皆さんからの反響は (2) 地域における防災訓練の実施状況は (3) 天竜川の状況について ① 治水対策事業を行った天竜川上流部川路・龍江地区の土砂堆積の状況は

	福澤克憲 (会派きぼう) 【 40 分 】	② 天竜川のしゅんせつの状況は ③ 令和5年12月に改定された天竜川水系河川整備基本方針を受け、令和6年7月に改定された天竜川水系河川整備計画(特に基準地点である天龍峡の洪水調節施設による調節流量、河川整備流量)についての市としての考えは (4) 流域治水の考え方は ① 「田んぼダム」を活用した雨水調節機能の考え方は ② 雨水貯留浸透施設設置補助金の活用状況は (5) 地域の取組について ① 防災・減災対策として地域に望むことは ② 災害時助け合い・住民支え合いマップの実効性を高めるためには (6) 今後の方向性は
5	宮脇邦彦 (公明党) 【 40 分 】	1 マイナンバーカードの普及とマイナ保険証の利用促進について (1) マイナンバーカードの申請・交付状況はどうか ① 当市の交付状況について現状での受け止めは (2) マイナ保険証の利用状況と当市の取組は ① 当市のマイナ保険証の利用率は ② マイナ保険証の利用率低迷をどう捉えているか ③ 既存の健康保険証の有効期限はいつまでか、更に有効期限が近づいた時の市民への対応は ア 資格確認書について、有効期限とその扱いは ④ マイナ保険証利用促進のための広報活動をどう進めるか ア マイナ保険証利用のメリットは イ 神奈川県小田原市で行われた災害時にマイナンバーカードを生かす実証実験効果を、どう普及へ生かすか ウ 救急医療におけるマイナ保険証の利用方法は ⑤ マイナンバーカードを持っていない方への対応は

	宮 脇 邦 彦 (公 明 党) 【 40 分 】	ア 当市のマイナンバーカード(マイナ保険証)取得支援の現状は イ 必要な方への「特急発行」の仕組みについて、当市の準備状況は ⑥ マイナ保険証の必要性について、市長の考えは 2 がん予防の推進と支援について (1) 子宮頸がん(HPV)ワクチン接種の推進状況は ① 子宮頸がんとは、どのような病気か ② HPVワクチンの効果は ③ 当市のキャッチアップ接種率は ④ ワクチン接種率向上への対策は
6	佐々木 博子 (会派みらい) 【 40 分 】	1 子どもの声と希望が届くまちづくりについて (1) 子どもの貧困に関して ① 「子どもの貧困」とは何か ② 生活困窮世帯の孤立防止についての考え方は ③ 貧困の連鎖を断ち切るための取組は (2) 子どもの権利に関して ① 「子どもの権利」とは何か ② 「子どもの権利保障をはかる総合的な条例」を制定する自治体が増えていることに対する市の見解は ③ 「子どもの権利を守る」とこと「子どもの権利を認めたらわがままになる」「権利を認めるなら義務を果たすべき」の考え方の違いは ④ 「(仮称)飯田市こどもまんなかプラン」にどのように反映させるか (3) 「ゆいきっず広場」の整備充実をどう考えるか
7	岡 田 倫 英 (会派きぼう) 【 50 分 】	1 魅力ある地域づくりに向けた男女共同参画社会について (1) 若年層の市民意識調査の結果をどう捉えるか

	岡田倫英 (会派きぼう) 【 50 分 】	(2) 年度戦略から女性の社会進出推進や子育て支援の充実は見受けられるが、「ギャップの解消」につながるか (3) 地域や習慣・しきたりへの関わりをどう考えていくか 2 今後の小中学校の在り方としての「学園構想」について (1) 「飯田市立小中学校の今後のあり方に関する方針第1次(案)」に対するパブリックコメント、地域協議会意見聴取を行ったが、寄せられた意見をどう受け止めたか ① 特色ある教育と通学区の関係は ② 第1次方針(案)の期間を10年とした根拠は ③ 学校施設の配置・枠組を考える主体は (2) 市民への説明、対話を続けていく姿勢はどうか 3 小中学校の水泳授業について (1) 民間プールを利用した水泳授業の現状は (2) 今後も拡大していく考えか (3) 休止状態にあるプール施設の今後は
8	市瀬芳明 (日本共産党) 【 30 分 】	1 健康で安心した生活が送れるまちについて (1) 温暖化や物価高騰等が生活に及ぼしている影響は ① 市民生活への影響について ア 猛暑の中でさまざまな生活面への影響が考えられるが健康面で安心できる生活が送れているか イ 物価高騰の教育費への影響はないか ② 公的施設などへの影響について ア 光熱費(利用料)への影響は イ 再生可能エネルギーの活用状況は ウ スポーツ施設における熱中症対策は (2) 市民一人ひとりの生活を支援していくための医師会、歯科医師会、薬剤師会などとの連携について ① ism-Linkを活用した取組は ② 適正服薬に向けた残薬整理への取組は

9	西 森 六 三 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	1 拠点集約連携型都市構造(コンパクトシティ)の推進について (1) 拠点集約連携の考え方について ① 4つの拠点分類の地域拠点単位での拠点集約が必要ではないか ② コンパクトシティの推進に向けて公共交通網の在り方をどう考えるか (2) コンパクトシティの推進を考えた誘導について ① 誘導推進の状況は ② 具体的な取組は (3) 市有施設の在り方について ① 定期的なサイクルでの調査検討により見直しをされている公共施設マネジメントの現状は ② 事後保全型に区分された施設の措置の現状は ③ 公共施設等総合管理計画の変更はあるか (4) 地域ごとの住民主導型社会の推進について ① 公助と共助の在り方を考える中で、地域自治組織の果たす役割は何か ② 課題に対して行政が検討し施策や考え方を住民に提案し、住民が選択検討して決定するプロセスがより必要であると考えerがどうか
10	木 下 徳 康 (新 政 い い だ) 【 50 分 】	1 漏水時の水道料金と下水道使用料について (1) 現状について ① 漏水時の対応は ② 上下水道料金の更正の認定とは ア 漏水の認定の方法は イ 年間の認定数は (2) 個人負担軽減の必要性について ① メーターのデジタル化は ② 使用水量の漏水認定の更正は適切か ③ 福祉的観点から支援できないか

	木 下 徳 康 (新政いいだ) 【 50 分 】	2 給食費の公会計化と無償化について (1) 検討を進めている公会計化の進捗状況は ① 導入時期に目処はついたか ② 学校事務職員からの情報収集及び課題整理の状況、導入他市の調査結果は ③ 導入に向けた課題はあるか (2) 給食費無償化は ① 現在の就学支援など該当する児童生徒への支援体制は ② 「誰ひとり取り残さない」の視点から無償化をどう考えるか
11	下 平 恒 男 (新政いいだ) 【 30 分 】	1 農作物被害の状況把握と対策について (1) 自然災害への対応は ① 被害状況をどのように把握しているか ② 多様化する被害に対して、対策をどのように進めるか (2) 野生鳥獣被害への対応は ① 当市の被害状況に近年変化は見られるか ② 対応策の検証と、今後の対応への課題は何か (3) 盗難被害への対応は ① 現状を把握する仕組みはあるか ② 被害軽減に向けて何らかの対策が必要ではないか 2 放課後児童クラブ等の運営状況について (1) 児童クラブ、児童館、児童センターなど名称がさまざまであるがその経緯と、取組内容に違いはあるか (2) 運営状況と課題について ① 現在のクラブ等の設置数と利用している児童数、及び職員の充足率はどうか ② 上郷小学校の改築工事に伴い、校内に児童クラブを統合して設置するがその利点は ③ 職員不足を聞くが、運営する上でどのような課題があるか

	下 平 恒 男 (新 政 い い だ) 【 30 分 】	④ 人材確保や育成など、喫緊の対応が必要ではないか
12	関 島 百 合 (会 派 み ら い) 【 40 分 】	1 介護保険証について (1) 介護を受ける認知症の高齢者への「介護保険証」「介護保険負担割合証」の交付の手続きを改善できないか (2) 介護事業者・ケアマネジャーの負担軽減に向けた改善策はあるか 2 「オーガニックビレッジ宣言」後の取組について (1) 「飯田市有機農業実施計画」に基づく取組は ① 地域相互認証制度の実態と今後の展開は ② 給食への有機米、有機野菜導入の現状と課題は ③ 保育園や学校、調理現場での食育の取組状況は ④ 「オーガニックファーム」の取組状況は ⑤ 市民が農業を学ぶ機会を持つ考えは
13	小 林 真 一 (公 明 党) 【 40 分 】	1 時代の流れや変化に応じ、学校教育をどのように考え進めるか (1) 不登校児童、生徒の現状は ① 不登校児童、生徒の近年の推移は ② コロナ禍による影響が少なからずあると思うが、原因分析はできているか ③ 人口減少による影響をどう考えるか ④ 不登校児童、生徒への対応の現状は (2) 飯田コミュニティスクールの現状は ① コミュニティスクールとは ② コミュニティスクールの取組状況は ③ これからの時代に地域と協働して子育てをしていくことのメリットをどう考えるか (3) 今、そしてこれからの子どもたちに育みたい力は ① 子どもたちに求められている力は昭和から平成、令和とどのように変化してきたと考えるか

	小 林 真 一 (公 明 党) 【 40 分 】	② 学校教育における授業の変化は見られるが、家庭学習における変化はあるか ③ 長期休業の学習課題の目的と現状は ④ 家庭学習や長期休業の課題について時代の変化に応じた学び方への考えは (4) 人口減少やデジタル社会などの時代において、体験や経験が子どもの成長に大きな影響を与えると考えるが教育長の考えは ① 地域住民との関わりをはじめさまざまな場面で体験や経験をすることで、人間関係構築や自己肯定感を培うことの重要性をどう考えるか
14	原 和 世 (会 派 み ら い) 【 50 分 】	1 市の財政運営に関して (1) 決算審査における行政評価と財政評価について ① 毎年の決算を評価する上で、行政評価に加えて財政評価を行うことは ② 令和5年度決算値から見た財政見通しは ③ 財政評価を決算から予算へつなげる上で以下の課題は ア 桐林クリーンセンターの取り壊しに係る費用負担は イ リニア駅前広場を2028年までに整備し供用することによって発生する運営経費の想定は ウ 文化会館建設に伴う財政上の留意点は 2 公契約条例に関して (1) 公契約条例の制定について ① 「働き方改革」関連法によって労働環境は改善する方向に進むが、賃金についても公契約条例の制定により改革を進めることは 3 飯田市これからの学校のあり方審議会に関して (1) 「飯田市立小中学校の今後のあり方に関する方針第1次(案)」について ① 諮問事項と答申の相対性と、答申と今後のあり方に関する方針の関係性は ② 令和7年4月からスタートする「学園構想」の形態について、複数の小中学校を学園とした際の一体性をどう構築するか

	原 和 世 (会 派 み ら い) 【 50 分 】	③ 審議会で議論が成熟しなかった学級・学校の適正規模と地域と学校の関係について今後の協議は ④ 諮問で求めていた審議会における調査・審議・提言を今後どのように考えていくか(小中一貫校・義務教育学校・小規模校・複式学級・最近に建設された学校などの調査)
--	---	---